令和８年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

小　学　校

注意　・答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。
・本問題では、小学校学習指導要領（平成29年告示）を「指導要領」、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説を「指導要領解説」とする。

第１問題　国語科について、次の問に答えよ。

問１　指導要領解説「第３章 各学年の内容 第１節 第１学年及び第２学年の内容１〔知識及び技能〕(3) イ」の「長く親しまれている言葉遊び」の例として適切でないものを、Ａ～Ｅから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　なぞなぞ　　Ｂ　折句　　Ｃ　回文　　Ｄ　かるた　　Ｅ　視写

問２　指導要領解説「第３章 各学年の内容 第３節 第５学年及び第６学年の内容１〔知識及び技能〕(1) キ」の「日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。」の学習で児童に示す次の会話文を読み、後の（１）、（２）に答えよ。

児童Ａ：明日の総合的な学習の時間に、大学教授の中井先生がいらっしゃるね。
児童Ｂ：そうだね。12月の学習発表会には、中井先生と料理研究家の山田先生をお招きするそうだね。
児童Ａ：そういえば、学習発表会の前に、山田先生のところにインタビューに伺うことになっていたね。
児童Ｂ：きっと、山田先生は私たちにたくさんのヒントをくださると思うよ。

（１）会話文から尊敬語にあたる言葉を二つ抜き出して答えよ。

（２）会話文から謙譲語にあたる言葉を二つ抜き出して答えよ。

問３　**文章Ⅰ**は竹取物語の冒頭である。これを読み、後の（１）、（２）に答えよ。

文章Ⅰ

今は昔、竹取のおきなといふ者ありけり。(a)野山に (b)まじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきのみやつこ (c)なむいひける。
その竹の中に、もと (d)光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、つつの中光りたり。それを (e)見れば、三寸ばかりなる人、いと (f)うつくしうてゐたり。

（１）指導要領解説「第３章 各学年の内容 第３節 第５学年及び第６学年の内容１〔知識及び技能〕(3) ウ」の「時間の経過による言葉の変化」の学習で使用する**文章Ⅰ**について述べた文として適切なものを、Ａ～Ｅからすべて選び、記号で答えよ。

Ａ　下線部（a）「野山」は、現代とほとんど変わらない意味で使われている言葉である。
Ｂ　下線部（b）「まじりて」の「まじる」は、現代とは違う意味で使われている言葉である。
Ｃ　下線部（c）「なむ」は、現代では使われなくなった言葉である。
Ｄ　下線部（d）「光る」は、現代とは全く違う意味で使われている言葉である。
Ｅ　下線部（e）「見れば」の「見る」は、現代とは違う意味で使われている言葉である。

（２）**文章Ⅰ**を用いて、指導要領解説「第３章 各学年の内容 第３節 第５学年及び第６学年の内容１〔知識及び技能〕(3) ア」の「親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しむこと。」の学習を行う。下線部（f）「うつくしうてゐたり」を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

問４　指導要領解説「第３章 各学年の内容 第２節 第３学年及び第４学年の内容２〔思考力，判断力，表現力等〕Ｂ 書くこと (1) エ」の「間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。」の学習で取り上げる次の例文①②について、後の（１）、（２）に答えよ。

例文①　私は必死でにげる妹を追いかけた。

例文②　私はにげる妹を必死で追いかけた。

（１）例文①について説明した次の文章の（　　）にあてはまる語として最も適切なものを、後のＡ～Ｅから一つ選び、記号で答えよ。

例文①について、「必死で」という（　　）が詳しく説明している言葉が、「にげる」なのか「追いかける」なのかはっきりしませんね。そのため、「必死」なのが、「私」なのか「妹」なのかが伝わらず、わかりにくいのです。

Ａ　主語　　Ｂ　述語　　Ｃ　修飾語　　Ｄ　接続語　　Ｅ　独立語

（２）児童に、「必死」なのが「私」であることがはっきり伝わる例文を示すため、例文①を例文②のように直した。どのように直したのか、例文②中の言葉を用いずに、端的に説明せよ。

2025 kyosai-guild.jp

第2問題　社会科について、次の問に答えよ。

問1　次の（1）、（2）に答えよ。

（1）指導要領解説で、飲料水を供給する事業を扱う際に、学習の問題を追究・解決する活動を通して身に付けるように記されている知識及び技能について、正しいものをA～Eから二つ選び、記号で答えよ。

A　今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

B　安全で安定的に供給できるよう進められていることを理解すること。

C　地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。

D　見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。

E　自分たちの県の地理的環境の概要を理解すること。

（2）指導要領解説で、人々の健康や生活環境を支える事業として、飲料水の供給以外に、取り上げることが記されている事業を二つ記せ。

問2　第6学年で「日本国憲法」の学習を行った。**資料1**は日本国憲法について学習した授業場面の記録である。後の（1）～（4）に答えよ。

資料1

教師　：**年表**や日本国憲法の条文から気がついたことや疑問に思ったことを発表しましょう。
児童A：日本国憲法は第103条までありますが、どのような考え方でつくられたのでしょうか。
児童B：天皇は国民の象徴になっています。「国民の象徴」ってどういうことですか。
児童C：国民は憲法を通してどのように政治に関わっているのでしょうか。
教師　：日本国憲法について調べていくことで、疑問を解消していきましょう。

年表

年	できごと
1945年	太平洋戦争が終わる
	日本政府が戦後改革を始める
1946年	日本国憲法が公布される
	戦後初の衆議院議員総選挙が行われる
1947年	日本国憲法が施行される

（1）日本国憲法の前文に記された三つの原則を答えよ。

（2）日本国憲法に記された天皇の国事行為について誤っているものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

A　国会の指名に基づく内閣総理大臣の任命

B　弾劾裁判所の設置

C　憲法改正、法律、政令及び条約の公布

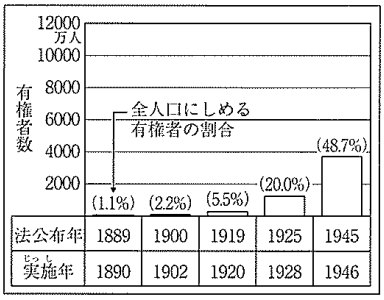
D　国会の召集

E　内閣の指名に基づく最高裁判所長官の任命

2025 kyosai-guild.jp

（3）次の**資料2**は、選挙の有権者数の推移である。1946年の選挙で有権者が増えた直接的な理由について正しいものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

資料2



法公布年	1889	1900	1919	1925	1945
実施年	1890	1902	1920	1928	1946

A　誰に投票したかを他人に知られないように無記名で投票する秘密選挙であったから。

B　一人一票の平等選挙であったから。

C　代表を直接選ぶ直接選挙であったから。

D　女性の選挙権が認められた初めての選挙であったから。

E　納税額による制限をなくした普通選挙であったから。

（4）日本国憲法では、政治に参加する権利（参政権）を定めており、その一つに選挙権がある。選挙権の他に政治に参加する権利（参政権）には、どのような権利があるか、一つ答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

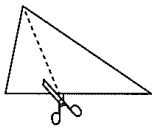
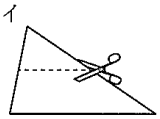
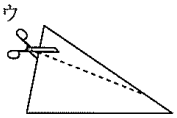
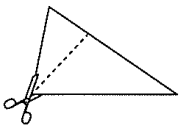
第３問題　算数科について、次の問に答えよ。

問１　**資料３**は、三角形の紙を直線で二つに切ったとき、どんな形ができるか考える第２学年の授業場面である。後の（１）～（３）に答えよ。

資料３

教師　：三角形の紙に直線を引き、その直線で二つに切ると、どんな形ができるかな。
児童Ａ：三角形ができるよ。
児童Ｂ：四角形もできるよ。
児童Ｃ：１枚の紙から、三角形と四角形ができるよ。
児童Ｄ：三角形が二つできることもあるよ。

（１）児童Ｃが考えた切り方をア～エから二つ選び、記号で答えよ。

ア　
イ　
ウ　
エ　

（２）児童Ｄが考えた切り方を答えよ。ただし、指導要領解説上の「図形を構成する要素」を用いること。

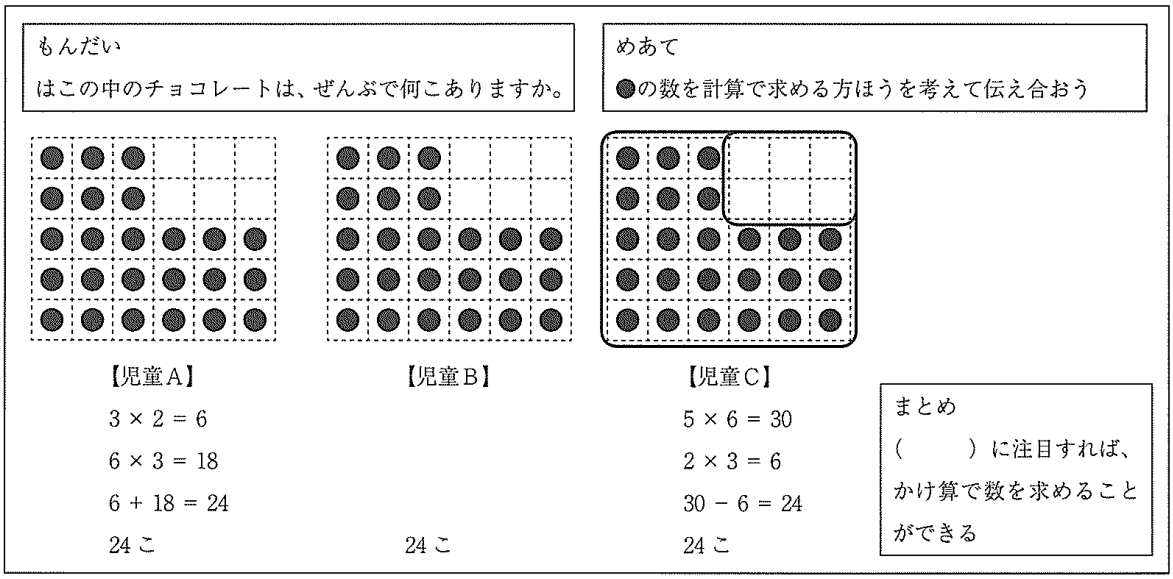
（３）この学習の後、「四角形の紙を直線で二つに切ったときは、どんな形ができるかなあ」と発言した児童がいた。この児童は、どのような「数学的な考え方」をしていると言えるか、Ａ～Ｄから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　主体的な考え方
Ｂ　対話的な考え方
Ｃ　自立的な考え方
Ｄ　発展的な考え方

2025 kyosai-guild.jp

問2　**資料4**は、箱に入ったチョコレートの数の求め方を考える第2学年の授業における板書である。後の（1）～（4）に答えよ。

資料4



（1）児童Aはチョコレートの数を求める式を上のように書いた。児童Aはどのように考えたか、予想される二通りの考えを図に表せ。

（2）児童Bは、一つのかけ算でチョコレートの数を求めた。児童Bの求め方を予想して、図と式で表せ。

（3）この学習のまとめの（　　）にあてはまる言葉をA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

A　同じ形

B　同じ数のまとまり

C　形のちがい

（4）このような分かりあう活動は、数学的活動の一つである。適切な活動名をA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

A　日常の事象から見いだした問題を解決する活動

B　算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動

C　数学的に表現し伝え合う活動

2025 kyosai-guild.jp

第４問題　理科について、次の問に答えよ。

問１　次の（１）～（３）に答えよ。

（１）理科の学習における野外での観察、採集、観測に際して、指導要領解説上配慮することを記述せよ。

（２）動かせないものを見るときの虫めがねの使い方として正しいものをＡ～Ｄから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　虫めがねを目の近くに持ち、見るものを虫めがねに近づけたり、見るものを虫めがねから遠ざけたりして、はっきりと見えるところで止める。

Ｂ　虫めがねを目の近くに持ち、見るものに近づいたり、見るものから遠ざかったりして、はっきりと見えるところで止まる。

Ｃ　虫めがねを目の近くに持ち、見るものを虫めがねに近づけたり、見るものから遠ざかったりして、はっきりと見えるところで止まる。

Ｄ　虫めがねを目の近くに持ち、見るものに近づいたり、見るものを虫めがねから遠ざけたりして、はっきりと見えるところで止める。

（３）植物や昆虫を扱う際に、教材として指導要領解説上適切でないものをＡ～Ｄから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　校庭などの身近な場所に生育する野草として、例えばキク科などの植物。

Ｂ　環境との関わりについて、昆虫との関わりがよく分かるような植物として、例えば、アブラナ科、ミカン科などの植物。

Ｃ　環境との関わりがよく分かる動物としては、例えば、身近な昆虫やダンゴムシなどの節足動物。

Ｄ　栽培が簡単で、身近に見られるもので、冬型一年生の植物。

問２　次の（１）～（３）に答えよ。

（１）食塩水、石灰水、アンモニア水、塩酸、炭酸水の五つの水溶液を蒸発皿に少量ずつとり、熱して、水を蒸発させた。その際に、白い物が残った水溶液の組み合わせとして正しいものをＡ～Ｅから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　アンモニア水と炭酸水　　Ｂ　食塩水と塩酸　　Ｃ　食塩水と石灰水　　Ｄ　アンモニア水と塩酸

Ｅ　石灰水と炭酸水

（２）**図１**のようにして、炭酸水から出る気体を集めた。児童は、この気体は、酸素または二酸化炭素と予想した。この予想を確かめるために、適した気体の調べ方の組み合わせとして、正しいものをＡ～Ｃから一つ選び、記号で答えよ。

ア　気体を集めた試験管に石灰水を入れてよくふる。

イ　気体を集めた試験管に火のついた線香を入れる。

ウ　気体を集めた試験管に鼻を近づけ、あおぎながらにおいを嗅ぐ。

Ａ　アとイ　　Ｂ　アとウ　　Ｃ　イとウ

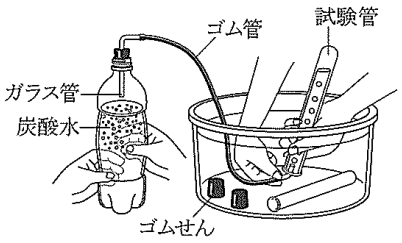


図1

（３）**図２**は、プラスチックの入れ物（ペットボトル）に水を半分ほど入れ、二酸化炭素ボンベから二酸化炭素をふきこみ、ふたをした状態を示している。この入れ物（ペットボトル）をよくふると入れ物（ペットボトル）の形はどうなるか、正しいものをＡ～Ｃから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　膨らむ

Ｂ　へこむ

Ｃ　変わらない



図2

2025 kyosai-guild.jp

第５問題　生活科について、次の問に答えよ。

問１　生活科における他教科等との関連について、指導要領解説上正しいものをＡ～Ｅから二つ選び、記号で答えよ。

Ａ　他教科等との関連では、生活科と他教科等との合科的・関連的な指導を行ったり、低学年の児童の生活とつながる学習活動を取り入れたりして、児童の気付きを中心に据えた教育課程の編成を行うことが重要である。

Ｂ　合科的な指導とは、各教科のねらいをより効果的に実現するために、二つ以上の教科を融合させて一つの教科として編成した授業形態を指す。

Ｃ　関連的な指導とは、教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するものである。

Ｄ　他教科等には、それぞれの目標や内容があるので、生活科の目標や内容よりも関連する他教科等の目標の達成を優先させる方が適当である。

Ｅ　生活科と他教科等において、学んだことがどのように関連付いていくのかを意識し、児童の思いや願いを生かした学習活動を展開するために、１年間の全ての単元を配列し、それを俯瞰（ふかん）することができる単元配列表の作成が効果的である。

問２　スタートカリキュラムについて、指導要領解説上正しいものをＡ～Ｅから二つ選び、記号で答えよ。

Ａ　幼児期の教育課程においても、内容を系統的に学ぶ教科学習に結びつく基礎的な学習が含まれている。幼児期の学習を小学校低学年の教科学習に円滑につなげるために、架け橋の役割を果たすのがスタートカリキュラムである。

Ｂ　スタートカリキュラムは、小学校生活のスタートを円滑に、そして豊かにするものである。全教職員でその意義や考え方、大切にしたいことなどを共通理解し、協力体制を組んで第１学年を見守り育てるとともに、児童の実態に即して毎年見直しを行いながら改善し次年度につないでいくことが重要である。

Ｃ　小学校入学当初の児童は、時間を気にせず、学びに没入する特徴がある。そこで、授業を 15 分程度の短い時間で区切ることは避け、場合によっては２単位時間を連続して設定し、児童が自らの思いや願いの実現のために、十分な活動時間を設定するなどの工夫が考えられる。

Ｄ　小学校入学当初の生活科を中心としたスタートカリキュラムは、児童に「明日も学校に来たい」という意欲をかき立て、幼児期の教育から小学校以降の教育への円滑な接続をもたらす。

Ｅ　スタートカリキュラムの実施に当たっては、児童が気付きを自覚しながら学べる学習環境を整えることが重要である。学習者のメタ認知に関する理解を深め、児童が知的な気付きを得やすくするとともに、気付きの質を高めるような指導にあたることが求められる。

2025 kyosai-guild.jp

第６問題　音楽科について、次の問に答えよ。

問１　指導要領解説「第３章 各学年の目標及び内容 第２節 第３学年及び第４学年の目標と内容 ２ 内容」に例示されている児童が表現を工夫するための活動について、誤っているものをＡ～Ｄから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　リズムや主旋律、副次的な旋律などを取り上げて声部ごとに演奏する。

Ｂ　スタッカートで音を滑らかにつなげて演奏する。

Ｃ　強弱や速度などの違いによる表現方法を試す。

Ｄ　♫♩ ♫♩の部分を♫♩ ♫♩に変えて演奏して比較する。

問２　**図３**の音をソプラノリコーダーで演奏する際、解答用紙の図の○のうち押さえる穴を●で塗りつぶせ。
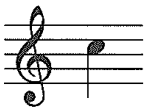


図３

第７問題　図画工作科について、次の問に答えよ。

問１　木工用接着剤（酢酸ビニル樹脂系接着剤）で同じ材料同士を接着する際に、接着に適切でないものをＡ～Ｄから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　布　　Ｂ　プラスチック　　Ｃ　木　　Ｄ　紙

問２　次は、指導要領「第２章 各教科 第７節 図画工作 第３ 指導計画の作成と内容の取扱い」の内容の取扱いについての配慮事項の一部である。［　　］にあてはまる言葉をＡ～Ｄから一つ選び、記号で答えよ。

> (3)〔共通事項〕のア※の指導に当たっては、次の事項に配慮し、必要に応じて、その後の学年で繰り返し取り上げること。
>
> ア　第１学年及び第２学年においては、いろいろな形や色、［　　］などを捉えること。

※〔共通事項〕のア…自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。

Ａ　色のイメージ　　Ｂ　奥行き　　Ｃ　触った感じ　　Ｄ　バランス

2025 kyosai-guild.jp

第８問題　家庭科について、次の問に答えよ。

問１　指導要領解説「第２章　家庭科の目標及び内容　第３節　家庭科の内容」で示されている調理の基礎で取り扱う調理法と食品として正しいものを、それぞれ一つずつ答えよ。

＜調理法＞

あげる　　焼く　　ゆでる

＜食品＞

肉　　魚　　じゃがいも

問２　ミシンの使い方について、角をぬう際の正しい方法をＡ～Ｄから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　はずみ車を回して針を上げ、次におさえを上げて、布の向きを変える。

Ｂ　おさえを上げ、はずみ車を回して針を上げて、布の向きを変える。

Ｃ　角に針をさしたまま、おさえを上げて、布の向きを変える。

Ｄ　おさえを下げたまま、針を上げて、布の向きを変える。

第９問題　体育科について、次の問に答えよ。

問１　指導要領解説「第２章 体育科の目標及び内容 第２節 各学年の目標及び内容〔第３学年及び第４学年〕２ 内容 A 体つくり運動 イ 多様な動きをつくる運動（イ）体を移動する運動」の運動例として適切なものを、Ａ～Ｄから二つ選び、記号で答えよ。

Ａ　速さやリズムの変化を付けたスキップやギャロップをしてはねること。

Ｂ　両足で跳び、手足の動作を伴って全身じゃんけんをすること。

Ｃ　友達をおんぶし、力の入れ方を加減しながら安定して運ぶこと。

Ｄ　補助を受けながら竹馬や一輪車に乗ること。

問２　指導要領解説「第２章 体育科の目標及び内容 第２節 各学年の目標及び内容〔第３学年及び第４学年〕２ 内容 C 走・跳の運動 イ 小型ハードル」の運動が苦手な児童への指導方法の例示として適切でないものを、Ａ～Ｄから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　インターバルの異なる複数のレーンを設定し選べるようにする。

Ｂ　ゴムを張った小型ハードルを使用する。

Ｃ　段ボールをハードルの代用にする。

Ｄ　勝敗のルールを工夫する。

問３　指導要領解説「第２章 体育科の目標及び内容 第２節 各学年の目標及び内容〔第３学年及び第４学年〕２ 内容 F 表現運動 ア 表現」において取り上げる次の三つの題材から一つを選択し、その特徴をメリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きで児童が表現している様子を説明せよ。

Ａ　ポップコーンづくり　　Ｂ　ジャングル探検　　Ｃ　宇宙探検

2025 kyosai-guild.jp

第10問題　外国語科について、次の問に答えよ。

問１　指導要領解説「第２部 外国語 第２章 外国語科の目標及び内容　第２節 英語 １ 目標 (5) 書くこと」の目標に関して、適切でない指導をア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア　大文字、小文字を活字体で書かせる際には、例えば、「a, c, e」や「f, l」などのように文字の高さの違いを意識させて指導すること。

イ　文字を書く指導に当たり、Ａａからアルファベット順に指導すること。

ウ　児童に英語の文構造を理解させるために、語の配列等の特徴を日本語との比較の中で捉えて指導すること。

エ　自分に関する文や文章を書く活動をする際、例示された中に児童の表現したい語句、又は文がない場合は、指導者が個別に書きたい語句を英語で提示するなど、児童の積極的に書こうとする気持ちに柔軟に対応すること。

問２　次の英文は、２人の児童が“My Best Memory”について発表した英文である。（　①　）～（　⑤　）にあてはまる語（句）の組み合わせとして最も適切なものをア～オから一つ選び、記号で答えよ。ただし、（　　）の同じ番号には、同じ語（句）が入るものとする。

児童１

My best memory is the school music festival.
We（　①　）it last September.
I enjoyed（　②　）with my friends.
It（　③　）a lot of fun.

児童２

My best memory is the school trip.
We（　④　）to Yokohama last May.
We（　⑤　）Chinese food.
It（　③　）delicious.

	①	②	③	④	⑤
ア	held	singing	was	went	eat
イ	held	to sing	were	go	ate
ウ	hold	singing	is	went	were eating
エ	held	singing	was	went	ate
オ	hold	to sing	is	go	were eating

2025 kyosai-guild.jp

第11問題　特別の教科　道徳について、次の問に答えよ。

問１　指導要領解説「第３章 道徳科の内容 第１節 内容の基本的性格 １ 内容構成の考え方」の一部である。［　①　］、［　②　］にあてはまる語の組み合わせとして正しいものをア～エから一つ選び、記号で答えよ。

> 「第２　内容」は、道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目を以下の四つの視点から、「第１学年及び第２学年」、「第３学年及び第４学年」、「第５学年及び第６学年」の学年段階に分けて示している。その視点から内容項目を分類整理し、内容の全体構成及び相互の関連性と発展性を明確にしている。
>
> A　主として自分自身に関すること
>
> B　主として人との関わりに関すること
>
> C　主として［　①　］や社会との関わりに関すること
>
> D　主として生命や［　②　］、崇高なものとの関わりに関すること

	①	②
ア	集団	自然
イ	集団	倫理
ウ	家族	自然
エ	家族	倫理

問２　指導要領解説「第４章 指導計画の作成と内容の取扱い 第１節 指導計画作成上の配慮事項 ３ 年間指導計画作成上の創意工夫と留意点」に示されたことをもとにした実践例である。適切でないものをＡ～Ｄから一つ選び、記号で答えよ。

A　学年の重点指導内容項目として「節度節制に心掛け、基本的生活習慣を確立すること」を挙げているため、年度初めの４月に「節度、節制」や「礼儀」などの内容項目を意図的に位置付け、効果的な指導ができるようにした。

B　内容項目「自然愛護」の教材として高山植物の保護を扱った「一ふみ十年」を用いる際、理科の「植物の実や種子のでき方」での学習内容を想起させて、植物の成長と生命尊重に気付かせるような工夫をした。

C　内容項目「友情、信頼」に関する教材として「ないた赤鬼」と「赤い灯ゆれろ」を計画的に位置付け、一つの主題を２単位時間にわたって指導し、道徳的価値の理解に基づいて自己を見つめる学習を充実させた。

D　第６学年の３学期に卒業に向けて気持ちを高めるために、各担任が学級の児童の実態に応じて、Ａ組は内容項目「生命の尊さ」、Ｂ組は内容項目「感謝」、Ｃ組は内容項目「真理の探究」を用いた教材を活用し、各学級担任の判断で年間指導計画を変更し、弾力的に取り扱うものとして指導を行った。

2025 kyosai-guild.jp

問３　指導要領解説「第４章 指導計画の作成と内容の取扱い 第３節 指導の配慮事項」に述べられていることに基づいた指導の事例を示したものとして適切なものをＡ～Ｅから二つ選び、記号で答えよ。

Ａ　道徳性育成の直接的な指導を意図する道徳科と、道徳性育成の間接的指導を意図する各教科等で行う道徳教育では、指導のあり方が異なる。そのため、各教科等で行う道徳教育で取り扱う機会が十分でない内容項目に関して、道徳科の授業で補充的な指導は行わず、各教科等で行う道徳教育の充実に努めた。

Ｂ　低学年の内容項目「親切・思いやり」の教材として「はしの上のおおかみ」を用いた際、登場人物の心情に共感するなどして気持ちを考えさせた後、授業の終末部分では、自らの生活の仕方や考え方を見つめ直すために、具体的な振り返り活動を工夫した。

Ｃ　高学年の内容項目「規則の尊重」の教材として「星野君の二るい打」を用いる際、発問に注意してねらいに迫る授業を展開した。学習課題の提示、中心発問、学習課題の再提示という流れに沿いながら、児童がペアや少人数グループで話し合ったり、クラス全体で考えたりする場面を設定し、授業が問題解決的な流れになるように工夫した。

Ｄ　社会の情報化が進展しているため、道徳科においても情報モラルに関する指導を充実させる必要がある。顔の見えない他者とのつきあい方を学ぶためには、情報機器の使い方やインターネットの操作、危機回避の方法などの具体的な練習が重要であることから、校内の情報教育担当教師と連携して授業を計画した。

Ｅ　高学年の内容項目「勤労、公共の精神」の授業で、働くことや社会奉仕を取り上げる際、地域に様々な仕事をもつ人がいるが、異なる価値観に触れることにより児童を混乱させることにつながると考え講師として招くことはせず、教師の価値観の紹介にとどめることにした。

2025 kyosai-guild.jp

第12問題　総合的な学習の時間について、次の問に答えよ。

問１　指導要領解説「第２章 総合的な学習の時間の目標 第２節 目標の趣旨 １ 総合的な学習の時間の特質に応じた学習の在り方 (1) 探究的な見方・考え方を働かせる」の「探究的な見方・考え方」に含まれる二つの要素をＡ～Ｆから二つ選び、記号で答えよ。

Ａ　季節や行事と関連させながら主体的かつ協動的に思考力を働かせるということ

Ｂ　外部の教育資源の活用や異校種との連携によって情報を収集・分析すること

Ｃ　各教科等における主体的に学習に取り組む態度を積極的に働かせるということ

Ｄ　各教科等における見方・考え方を総合的に働かせるということ

Ｅ　総合的な学習の時間に固有な見方・考え方を働かせること

Ｆ　総合的な学習の時間における児童の学習経験や興味関心を踏まえること

問２　指導要領解説「第５章 総合的な学習の時間の指導計画の作成 第４節 全体計画の作成」で示されている総合的な学習の時間の全体計画に盛り込むべきもののうち、「必須の要件として記すもの」が三つある。それは、「各学校における教育目標」、「各学校において定める内容」のほか、もう一つは何か、答えよ。

第13問題　特別活動について、次の問に答えよ。

指導要領解説「第３章 各活動・学校行事の目標及び内容」では、特別活動を構成している活動について述べられている。学級活動と学校行事について述べたものとして適切なものをＡ～Ｄから二つ選び、記号で答えよ。

Ａ　学級活動は、共に生活や学習に取り組む同年齢の児童で構成される集団である「学級」において行われる活動である。

Ｂ　学級活動は、学校全体の生活を共に楽しく豊かにするために学校の全児童をもって組織する集団活動の一部をなすもので、教師の支援による計画的な活動である。

Ｃ　学校行事は、全学年の児童で組織される学年や学級が異なる同好の児童の集団によって行われる活動である。学校行事は、学校、保護者、地域等の密な連携に支えられ、年間を通して計画的に位置付けられることが重要である。

Ｄ　学校行事は、全校又は学年という大きな集団を単位として行われる活動である。学校行事は、学級の集団だけではなく、全校や学年などの大きな集団で、児童が協力して行う活動である。

2025 kyosai-guild.jp

令和８年度　解 答 例

小　学　校	１／４枚中

第１問題（国語）

問１	E （２点）					
問２	（１）	いらっしゃる	くださる （各１点、順不同）	（２）	お招きする	伺う （各１点、順不同）
問３	（１）	A、B、C （完答２点）		（２）	うつくしゅうていたり （２点）	
問４	（１）	C （２点）				
	（２）	被修飾語の直前に修飾語を置いた。（３点）				

第２問題（社会）

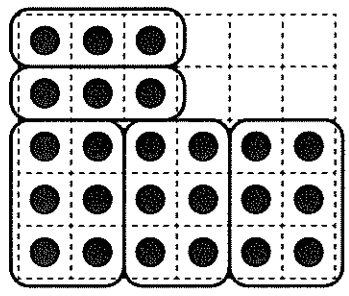
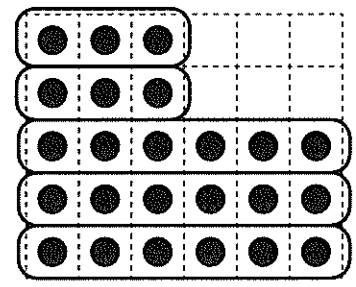
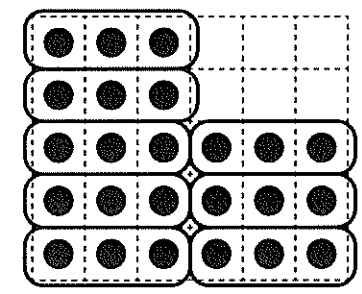
問１	（１）	B	D	（各１点、順不同）	
	（２）	電気の供給事業	ガスの供給事業	（各１点、順不同）	
問２	（１）	国民主権	基本的人権の尊重	平和主義	
	（２）	B （２点）	（３）	D （２点）	（各１点、順不同）
	（４）	最高裁判所裁判官の国民審査権（３点）			

2025 kyosai-guild.jp

令和８年度　解 答 例

小　学　校	2／4枚中

第３問題（算数）

問１	（１）	イ	ウ	（完答１点、順不同）
	（２）	頂点を通るように切る切り方。（３点）		
	（３）	D （２点）		
問２	（１）	図  （各１点、順不同）	図 	（２） 図  （２点） 式）　３×８ （１点）
	（３）	B （２点）	（４） C （２点）	

第４問題（理科）

問１	（１）	事前に現地調査を行い、危険箇所の有無などを十分に確認して、適切な事前指導を行い、事故防止に努めること。（３点）				
	（２）	B （２点）	（３）	D （２点）		
問２	（１）	C （２点）	（２）	A （２点）	（３）	B （２点）

第５問題（生活）

問１	C	E
問２	B	D

（各１点、順不同）

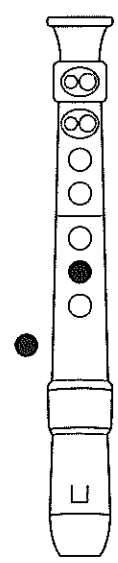
（各１点、順不同）

2025 kyosai-guild.jp

令和８年度　解 答 例

小　学　校	3／4枚中

第６問題（音楽）

問１	B （２点）
問２	図  （２点）

第７問題（図画工作）

問１	B （２点）
問２	C （２点）

第８問題（家庭）

問１	調理法	ゆでる	食品	じゃがいも	（完答２点）
問２	C （２点）				

2025 kyosai-guild.jp

令和８年度　解答例

小　学　校	4／4枚中

第９問題（体育）

問１	A	B
問２	D （２点）	

（各１点、順不同）

問３	題材	

A　フライパンの中にポップコーンが置かれ、フライパンが徐々に温まっていく場面では、体を小さくたたみ、フライパンが徐々に温まっていく過程で、体をゆっくり揺すっている。十分にフライパンが温まり、ポップコーンが急速にあちこちにはじけていく様子を表現する場面では、全身を使って体を大きく開くとともに素早く跳びはねている。その後、体の動きを徐々に止めることで、膨らんだポップコーンが皿に盛られる様子を表現している。

B　ジャングルに入っていく場面では、体を低くし、手を大きくゆっくり使って草をかき分けている。その際、ライオンに遭遇して驚き、急いで逃げていく様子や、ジャングルの中の大きな川にかかった一本橋を滑らないようにゆっくり慎重に渡っていく様子、いかだが急流に流される様子を素早い動きで表現するなどし、その後、安心したり、喜び合ったりする様子を全身で表現している。

C　ロケット発射前には緊張して静かに座って待っており、発射されると、一気にロケットが上昇していく様子を、全身を使って大きく、素早い動きで表現している。宇宙空間に入ると、無重力の空間を、おへその向きを変えたり、空間を広く使ったりして、ゆっくりとした動きで移動する様子を表現している。着陸時には、安心して喜ぶ様子を、手や体を大きく使って表現している。

（３点）

第 10 問題（外国語）

問１	イ （２点）
問２	エ （２点）

第 11 問題（道徳）

問１	ア （２点）	
問２	D （２点）	
問３	B	C

（各１点、順不同）

第 12 問題（総合的な学習の時間）

問１	D	E

（各２点、順不同）

問２	各学校において定める目標　（２点）

第 13 問題（特別活動）

A	D

（各２点、順不同）

2025 kyosai-guild.jp